

# 地方史文献年鑑 2024

飯澤 文夫 編

## 刊行にあたって

2024年版をお届けします。創刊の1997年版（岩田書院／2019年版より白鳥舎）から通算で28冊目になります。

昨年12月刊行の2023年版で、当年をもって休刊する旨を告知いたしました。白鳥舎の活動停止によるものです。しかし、年鑑データを長年にわたり日外アソシエーツの論文・雑誌データベース「MagazinePlus」に提供してきたことから、同社に、年鑑の元となる「地方史情報」と合わせて継承してもらえないか検討をお願いしました。幸いにも、「地方史情報」は体裁の変更はありましたが2024年9月のNo.169から、年鑑は従前の編集方針をほぼ踏襲する形で、引き受けていただけることになりました。

望外の喜びであり、同社の英断に心から感謝を申し上げる次第です。

さて、2024年版の収録誌数は1,941誌（2023年版：1,724誌）、内訳は、地方誌1,862誌（同：1,601誌）、全国誌79誌（同：123誌）です。地方誌1,862誌のうち、2023年または2024年の刊行が確認できたものは1,628誌（同：1,386誌）です。文献点数は総計で15,282点になります。なお、2023年版の集計に誤りがありましたので、訂正いたします。

2024年に刊行がなくても、過去3年の間に刊行があるものや、研究団体としての活動が継続していると判断される場合は団体情報のみ掲載しています。全国誌は2024年に刊行があったもののみ収録しています。

地方誌は2023年版から一挙に261誌も増加しました。これは、これまで入手できずにいた雑誌で、国立国会図書館に所蔵がなく、あるいは所蔵していても雑誌記事索引の対象になっていないものを、全国の研究団体・機関に寄贈依頼したところ、多くに応じていただけたこと、並びに、文献収集とデータベース構築を専門とする日外アソシエーツの組織力の賜物です。

2024年の創刊は、北海道『北斗市郷土資料館研究紀要』、群馬県『桐生市史研究』（桐生市市史編さん室）、神奈川県『茅ヶ崎市博物館研究紀要』、同『悠久 第3次』（鶴岡八幡宮）、静岡県『静岡市歴史博物館研究紀要』、愛知県『西二葉町遺跡発掘通信』（愛知県埋蔵文化財センター）、京都府『知恩院史料編纂所報』、兵庫県『兵庫県立兵庫津ミュージアム研究紀要』、奈良県『大和古文化研究』（同会）、和歌山県『和歌山県立文書館年報・研究

報告』、愛媛県『伊予史談東部会会報』（同会）、高知県『土佐民俗文化研究』（同会）、熊本県『阿蘇世界文化遺産登録推進「若手研究」成果論文集』（阿蘇世界文化遺産登録推進協議会）の13誌です。

『土佐民俗文化研究』は、2019年に高知県内の民俗愛好者らで結成したグループが、定期的に民俗調査や研究報告会を開催し、知識を深めてきた中でこぎつけたもので、今後を期待しています。

終刊は、北海道『なえい』（奈井江町郷土研究会）、神奈川県『小田原ガイド協会だより』、富山県『氷見春秋』（同会）、石川県『市史だより』（小松市史担当）、愛知県『新編知立市史だより』（知立市教育委員会）、大阪府『泉佐野の歴史と今を知る会会報』、兵庫県『東播磨 地域史論集』（東播磨地域史懇話会）、広島県『厳島研究 広島大学世界遺産・厳島-内海の歴史と文化プロジェクト研究センター研究成果報告書』、熊本県『Kumamoto 総合文化雑誌』（くまもと文化振興会）、宮崎県『石の証言』（「八紘一字」の塔を考える会）の10誌です。

『なえい』は1982年の創刊、『氷見春秋』は1980年、『泉佐野の歴史と今を知る会会報』は1988年、『東播磨』は1994年と、それぞれ40年前後の歴史を刻み、地域史研究を担っていました。これらのみならず、全国の団体が会員の高齢化と減少により活動維持が困難になっている現状を思い知らされます。『市史だより』と『新編知立市史だより』は修史事業の終了に伴うものです。

2024年版は、独自調査と図書館への複写申込、研究団体・機関に照会と寄贈依頼をして進めました。岩田書院からは同社に寄贈された雑誌の提供をいただいています。関係各位に御礼申し上げます。

準備期間の短さもあり、不十分な部分があります。次年版以降は一層精査し、より有効活用される年鑑に仕上げていく所存です。

今後とも新生『地方史文献年鑑』にご支援をお願いいたします。

最後になりますが、出版を引き受けていただいた日外アソシエーツ山下浩社長、青木竜馬取締役営業局長、及び、短期間でハードな編集を担ってくださったデータベース編集部2課の近藤貴子課長はじめ、多くの皆様に感謝いたします。

2025年11月

飯澤 文夫

## 目次

凡例	.....	vi	
地方誌			
北海道	..... 3	滋賀県	..... 304
青森県	..... 21	京都府	..... 313
岩手県	..... 28	大阪府	..... 328
宮城県	..... 35	兵庫県	..... 343
秋田県	..... 45	奈良県	..... 356
山形県	..... 51	和歌山県	..... 366
福島県	..... 60	鳥取県	..... 375
茨城県	..... 72	島根県	..... 378
栃木県	..... 84	岡山県	..... 386
群馬県	..... 90	広島県	..... 396
埼玉県	..... 99	山口県	..... 413
千葉県	..... 115	徳島県	..... 420
東京都	..... 134	香川県	..... 424
神奈川県	..... 167	愛媛県	..... 429
新潟県	..... 195	高知県	..... 440
富山県	..... 208	福岡県	..... 447
石川県	..... 213	佐賀県	..... 465
福井県	..... 223	長崎県	..... 469
山梨県	..... 228	熊本県	..... 475
長野県	..... 233	大分県	..... 489
岐阜県	..... 259	宮崎県	..... 493
静岡県	..... 266	鹿児島県	..... 498
愛知県	..... 280	沖縄県	..... 506
三重県	..... 296		
全国誌	.....	518	
雑誌名索引	.....	561	

## 凡 例

### 1. 本書の内容

本書は、2024年に国内で刊行された日本の地方史に関する雑誌文献を都道府県ごとに雑誌単位で収録した文献目録である。寄贈誌及び編者・日外アソシエーツが収集したデータから編者が採録した雑誌・記事を掲載した。

岩田書院及び白鳥舎刊『地方史文献年鑑』（1997年版～2023年版）を継承しており、地方史文献年鑑の全データは日外アソシエーツの雑誌記事・論文情報データベース MagazinePlus で検索できる。

### 2. 収録の対象

#### 1) 収録年

2024年に刊行された雑誌に掲載された記事。なお、前年版の収録漏れも補った。

#### 2) 収録対象誌

地方誌：在地の地方史研究雑誌（考古学、文化史・産業史など各分野、史民俗、人文地理、人物史研究等を含む）

全国誌：地方史関係記事が多く掲載される雑誌や、地方史研究を集約するような性格を有する研究団体が刊行する雑誌。

#### 3) 記事採録基準

原則として地方史関連の主題や内容を表わす論題と執筆者名を有する記事とし、次のものは省いた。文芸作品、歴史分野以外の論考、お知らせ・予告、会務報告、海外の事象をテーマとした記事。

### 3. その他

当該年に刊行がなくても過去3年以内の刊行が確認できる雑誌と、当該年に刊行されていても記事情報が入手できなかった雑誌は、誌名・連絡先住所などの情報のみを掲載した。また、採録すべき記事がなかった雑誌については誌名・連絡先住所などと巻号・刊行年月を掲載した。

### 4. 排列

北から南へ都道府県番号順に排列し、最後に全国誌を置く。その中は誌名の五十音順。英字の誌名の場合はカタカナ読みとした。排列に際しては、濁音、半濁音は清音扱い、ヂ→ジ、ヅ→ズと見なし、拗促音は直音扱い、長音記号は無視した。

関東地方など広域を扱う雑誌は、その域内で刊行されている場合は刊行地に、域外で刊行されている場合は、当該地域の先頭の都道府県（関東地方の場合は茨城県）に置いた。

### 5. 資料情報の記述

#### 誌名・出版者情報・所蔵情報

◆ふおーらむ・F: 福島県民俗学会 news Letter (国明 Web)  
①誌名 ②副誌名 ③所蔵情報  
福島県民俗学会  
④出版者  
〒965-0807 会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内  
⑤住所  
TEL 0242-28-6000 年4,000円 2011年創刊 A4 年2回  
⑥電話番号 ⑦年会費 ⑧創刊年 ⑨判型 ⑩刊行頻度  
<https://fukushimafolklore.com>  
⑪web アドレス

#### 巻号・文献情報

◆76(1) 通号 888 2024.1 88p  
⑫巻(号)通号 ⑬刊行年月 ⑭総頁数  
《民俗学特集号》  
⑮特集名  
「道祖神伝来」の系譜 / 附録「道祖神  
伝承」文献資料 倉石 忠彦  
⑯標題 ⑰著者名

## 6. 所蔵情報について

(国) 国立国会図書館

〒100-8204 東京都千代田区永田町1-10-1 TEL 03-3581-2331

(明) 明治大学博物館

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL 03-3296-4448

(Web) 刊行元のホームページ等で最新号の全文が閲覧可能なもの

編者及び日外アソシエーツ宛に寄贈された雑誌は、明治大学博物館に収蔵される。同館は一般公開され、自由に利用できるが、所蔵状況は事前に確認が必要。明治大学図書館のオンライン目録検索で、所蔵館項目を「博物館」として検索する。

## 7. 雑誌名索引

記事の有無にかかわらず、本文に掲載した雑誌名を対象とする。誌名のあとに出版者を付与し、同名の場合は出版者の読み順。

排列は雑誌名の五十音順とし、英字の誌名の場合はカタカナ読みとした。排列に際しては、濁音、半濁音は清音扱い、ヂ→ジ、ヅ→ズと見なし、拗促音は直音扱い、長音記号は無視した。

# 北海道

## ◆アイヌ語地名研究 (国)

アイヌ語地名研究会

〒001-0017 札幌市北区北十七条西1-1-1

コーポ望103 渡辺隆 TEL011-728-6400、

011-299-6834 年5,000円 1998年創刊

B5 年刊

<https://sapporo-machizukuri.com/org/2557>

### ◇ (27) 2024.12 256p

ヌカナンという地名を調べて 山下 栄光

地名「ソリオイ」は「櫓に乗る所」

なのか？—ルストリゾートがある

山の名を考える 中野 克良

道東のタブコブを巡る (1) 中野 良宣

江戸期における北海道以北の地図を

読む (4) 大竹 進, 葛野 大喜, 花輪 陽

平, 藤村 久和

第27回アイヌ語地名研究大会—公益

財団法人 アイヌ民族文化財団

2024年度助成事業

第27回アイヌ語地名研究大会 高橋 慎

モラップの怪 山下 栄光

飛騨屋石狩山伐木図に残るアイヌ

語地名 (2) モサツホロ別川 中野 克良

大正期、雑誌「少年」に掲載され

た「アイヌ少年の手紙」 高橋 晶子

千徳太郎治が記録した樺太方言テ

キストを読む 阪口 諒

「道南地域のタブコブtapkopを巡

る」に関する補遺 (2) 中野 良宣

不思議な地名アンルルを考える 中野 良宣

アイヌ語東別方言の研究—東別の

地名紹介 葛野 大喜

2024年度アイヌ語地名研究会現地探

査会—後志 (余市・岩内・ニセ

コ・倶知安周辺) を巡るフィール

ドワーク 高橋 慎

アイヌ語地名と木田金次郎 岡部 卓

アイヌ文化を読む会—毎月第一火曜

日 佐賀 彩美

アイヌ語地名を調べる会—毎月第三

火曜日 土井 勝典

青木喜三郎と濃飛育児院 吉見 孝夫

「蝦夷國奇観」解説余話 奥本 繁

「野外博物館 北海道開拓の村—漁村

群」を見学して 鎌田 洋

## ◆アイヌ語地名研究会会報

アイヌ語地名研究会

〒001-0017 札幌市北区北十七条西1-1-1

コーポ望103 渡辺隆 TEL011-728-6400、

011-299-6834 年5,000円 1997年創刊

B5 季刊

<https://sapporo-machizukuri.com/org/2557>

### ◇ (98) 2024.2 10p

アイヌモシリの地名 (転載) 金田 久璋

### ◇ (99) 2024.5 6p

クロマント・クリモント (続)

本田克代さんの業績

### ◇ (100) 2024.7 10p

新刊の紹介 中澤道山「秩父のアイヌ語地名」

### ◇ (101) 2024.8 8p

書籍の紹介と感想「ふるさとの地名

釧路市・釧路町の地名由来」

新著の紹介 児島恭子「アイヌ語地名の歴史」

### ◇ (102) 2024.11 12p

アイヌ語地名と木田金次郎 岡部 卓

岩内の不思議「イワ」ベルト

千徳太郎治の記録を巡って 中野 良宣

松浦竹四郎研究会会報 アイヌ語地

名関連目次

新刊案内 清野春樹「山形県のアイ

ヌ語地名」「山形県のアイヌ文化」

# 全国誌

## ◆アーカイブズ (国 Web)

国立公文書館  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2  
Tel03-3214-0621 1999年創刊 A4 季刊  
<https://www.archives.go.jp>

### ◇(91) 2024.2

仙台市公文書館の開館について 庄子 淳  
富山県置県140年記念 令和5年度 国立公文書館所蔵資料展「日本の近代教育のあゆみと富山」を振り返って 浅井 正浩  
香川県立文書館アーカイブズウォークの開催について 嶋田 典人  
開館50周年を迎える茨城県立歴史館 富田 任

### ◇(92) 2024.5

令和5年度アーカイブズ研修II特集  
事例報告(1)鳥取県における文書管理システムについて 新林 えり  
事例報告(2)埼玉県戸田市における電子公文書の管理・保存・活用 吉田 幸一

### ◇(93) 2024.8

公文書で見る「虎に翼」—国立公文書館所蔵資料のご紹介 鈴木 洋子  
藤沢市文書館50周年を迎えて 猪俣 順一、山田 之恵

### ◇(94) 2024.11

令和6年度全国公文書館長会議報告  
電子公文書の管理をめぐる国の動向について 小池 智歌  
国立公文書館における電子公文書等の保存等に関する取組み 八日市谷 哲生

## ◆アーカイブ通信 (国 明 Web)

ネットワーク・市民アーカイブ  
〒189-0012 東京都東村山市萩山町2-6-10-1F Tel042-396-2430 年6,000円 2014年創刊 A4 年3回刊

<http://www.c-archiv.jp>

◇(30) 2024.3 8p  
資料にいかに向き合うか—聞き取りがフィールドワークへ 大門 正克

ミニコミ紹介 『市民活動のひろば』  
東京・多摩地域を中心とした市民活動交流誌 2002年創刊 江頭 晃子  
「市民活動資料」収集・整理・活用の現場から 高原 太一  
市民アーカイブ多摩の資料棚から(17)高齢者(1) 吉田 明

リレーエッセイ〈市民アーカイブ多摩のひと〉(6)読み捨てていた資料の保存に驚きながら 立石 昌紀

◇(31) 2024.7 8p  
開館10周年記念集會報告 2024年2月12日 市民活動資料保存・活用 次の10年を描く—「市民アーカイブ多摩」のこれまでとこれから 編集部  
ミニコミの「灯」を引き継いで—試行錯誤と決断の10年 増沢 航  
ミニコミへの「窓」を開こう—記録を支える次の10年 平野 泉

私と市民活動資料(19)公共的課題を市民本位で解決するために—私が身近に関わった事例から 戸室 幸治  
市民アーカイブ多摩の資料棚から(17)高齢者・その2 吉田 明

リレーエッセイ〈市民アーカイブ多摩のひと〉(7)記憶の糸をたぐれば… 中村 光一

◇(32) 2024.11 8p  
市民アーカイブ多摩 開館10周年記念講演会報告 地域雑誌『谷根千(やねせん)』とその後—厄介な「時代」をどう記録するか お話：森まゆみさん(作家、編集者、「谷根千 記憶の蔵」主宰) 町村 敬志  
私と市民活動資料(20)段ボール箱の中の資料を手にとって 渡邊 康弘

## 第10期 緑蔭トーク報告

第1回 5月25日 地域を本でつなぐ—府中・マルジナリア書店から 小林えみ(文筆家) 立石 昌紀

第2回 6月22日 東北津波被災地を訪ねて—私が集めたアーカイブ 吉田明(元神奈川県立高校教員) 吉田 明  
リレーエッセイ〈市民アーカイブ多摩のひと〉(8)縁ある場所で 永瀬 里子

## ◆アーキビスト：全史料協関東部会会報 (国)

全史料協関東部会  
〒241-0815 神奈川県横浜市旭区中尾1-6-1  
神奈川県立公文書館 Tel045-364-4463  
年2,000円 1984年創刊 B5 年2回刊  
<https://www.jsai.jp/iinkai/kanto/index.html>

### ◇(99) 2023.3

第314回定例研究会「公文書管理法下における新潟県内のアーカイブズ動向」  
公文書管理法下における新潟県内のアーカイブズ動向2011~2022 長谷川 伸

### ◇(100) 2023.9

第316回定例研究会「戦争体験をめぐる記録と記憶の継承を考える」  
証言と資料を基にした東京大空襲の研究 石橋 星志  
戦時期東京都における文書の継承について 小野 美里

### 第317回定例研究会「令和5年度総会記念講演会」

講演 公文書管理の制度化—意思決定と文書保存の狭間で 牧原 出

### ◇(101) 2024.3

第318回定例研究会「学校教育が求めるアーカイブズとは」  
高校の新歴史科目「歴史総合」「日本史(世界史)探究」を見据えて 風間 洋  
報告の課題に対するコメント 新井 浩文

第319回定例研究会「災害誌と自治体史—震災復興の内と外」  
災害誌と自治体史—震災復興の内と外 泉田 邦彦  
「大字誌」について考えたこと 富善 一敏

第320回定例研究会「会計年度任用職員制度とアーキビスト」  
専門職はなぜ非正規化してきたのか 上林 陽治

認証アーキビストをいかに育てるか—会計年度任用職員としての経験から 大月 英雄

### ◇(102) 2024.9

第321回定例研究会「神奈川県内市町村における公文書管理の動向」  
相模原市における公文書管理—条例制定から条例の実効性を高める取組へ 樋口 一美  
歴史公文書等の取扱いについて 濱野 未来

## ◆あしなか (国 明)

山村民俗の会  
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 Tel048-645-7818  
年7,000円 1939年創刊 B5 年3回刊

### ◇329 2024.2 18p

表紙解説 岩角山岩角寺の「角大師」絵札(福島県本宮市) 関 啓司  
富崎県の俗信と今—「民俗記録」という視点 矢口 裕康  
奥武蔵・奥多摩の「黒指」—「サス」地名を訪ねて(2) 荒井 俊昭  
【丸石】資料の追加 関 啓司  
山里だより(38) 丹波美山の山里歳時記—春から冬へ—続編 西浦 左門

### ◇330 2024.6

能登半島特集  
令和六年・能登半島地震 能登はやさしや土までも—無形民俗文化財存亡の危機 石森 長博  
「能登半島地震」復興の烽火(のろし)を!—24年元旦/新聞報道に見る  
資料紹介—過去の記録に見る能登の歴史・民俗「能登半島わじまぎきの手漕舟漁業実態」(抄)  
(大正十年前調査報告書) 四柳 嘉孝  
資料紹介—過去の記録に見る能登の歴史・民俗「若田の手帳」(抄)(昭和五十七年・志賀町岩田民俗誌) 浜野 三郎

## あ

愛城研報告(愛知中世城郭研究会)	280	秋田民俗通信(秋田県民俗学会)	47
会津会々報(会津会)	60	秋田歴研協会誌(秋田県歴史研究者・研究団体協議会)	47
会津史談(会津史談会)	60	アーキビスト(全史料協関東部会)	519
会津史談通信(会津史談会)	60	Arctic circle(北方文化振興協会)	4
会津人群像(歴史春秋出版)	60	朱(伏見稲荷大社)	313
会津の民俗(歴史春秋社)	61	朝霞市博物館研究紀要(朝霞市博物館)	99
あいづわかまつ文化財だより(会津若松市教育委員会)	61	あさじ史談(朝地史談会)	489
愛大史学(愛知大学文学部人文社会学科日本史学・アジア史学・地理学専攻)	280	朝日遺跡だより(あいち朝日遺跡ミュージアム)	281
あいち朝日遺跡ミュージアム研究紀要(あいち朝日遺跡ミュージアム)	280	旭川市博物館研究報告旭川市科学館研究報告(旭川市博物館, 旭川市科学館)	4
愛知県公文書館研究紀要(愛知県)	281	Asiage(九州国立博物館)	447
愛知県公文書館だより(愛知県公文書館)	281	足柄乃文化(山北町地方史研究会)	167
愛知大学総合郷土研究所紀要(愛知大学総合郷土研究所)	281	あしたづ(河内の郷土文化サークルセンター)	328
アイヌ語地名研究(アイヌ語地名研究会)	3	あしなか(山村民俗の会)	519
アイヌ語地名研究会会報(アイヌ語地名研究会)	3	葎のみち(三郷市・三郷市教育委員会)	99
あうる京北友の会だより(あうる京北友の会)	313	葎火(大阪市文化財協会)	328
青森県考古学(青森県考古学会)	21	あじまゝ(名護博物館)	506
青森県立郷土館研究紀要(青森県立郷土館)	21	あじま乃再発見(味真野自治振興会文化教養部)	223
青森県立郷土館だより(青森県立郷土館)	21	安心院(あじむ)縄文(安心院縄文会)	489
Archives(沖縄県文化振興会)	506	明日への文化財(文化財保存全国協議会)	520
アーカイブズ(国立公文書館)	518	明日を拓く(東日本部落解放研究所(発売:解放書店))	134
アーカイブ通信(ネットワーク・市民アーカイブ)	518	安曇野市豊科郷土博物館紀要(安曇野市豊科郷土博物館)	233
阿賀路(阿賀路の会)	195	安曇野市文書館紀要(安曇野市文書館)	233
明石市立文化博物館news(明石市立文化博物館)	343	安曇野市文書館だより(安曇野市文書館)	233
縣(あがた)(延岡史談会)	493	安曇野文化(安曇野文化刊行委員会)	233
あかね(御坊文化財研究会)	366	麻生の文化(行方市教育委員会)	72
赤星直忠博士文化財資料館だより(赤星直忠博士文化財資料館)	167	阿蘇学会誌(阿蘇学会)	475
赤れんが(北海道立文書館)	4	阿蘇世界文化遺産登録推進「若手研究」成果論文集(阿蘇世界文化遺産登録推進協議会)	475
あかんさす(さいたま市立浦和博物館)	99	足立区立郷土博物館紀要(足立区)	134
秋田近代史研究(秋田近代史研究会)	45	足立区立郷土博物館だより(足立区立郷土博物館)	134
秋田県公文書館研究紀要(秋田県公文書館)	45	足立史談(足立史談編集局)	134
秋田県公文書館だより(秋田県公文書館)	45	足立史談会だより(足立史談会)	136
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要(秋田県埋蔵文化財センター)	45	あつぎ郷土博物館NEWS(あつぎ郷土博物館)	167
秋田県立博物館研究報告(秋田県立博物館)	46	厚木市史たより(厚木市)	168
秋田考古学(秋田考古学協会)	46	あつた(熱田神宮宮庁)	282
秋田史苑(秋田歴史研究会)	46	アテルイ通信(アテルイを顕彰する会)	28
秋田民俗(秋田文化出版)	47	あなたと博物館(松本市立博物館)	234
		我孫子史研究(我孫子市史研究センター)	115
		我孫子市史研究センター・会報(我孫子市史研究センター)	115
		白水郎(あま)(坂ノ市地区郷土史愛好会)	489
		奄美沖繩民間芸学(奄美沖繩民間芸学会)	506

## 編者略歴

飯澤 文夫 (いざわ・ふみお)

1949年 長野県辰野町生まれ。

元 明治大学図書館勤務。

編集: 「地方史雑誌文献目録」 (『月刊 歴史手帖』名著出版、1979.5-1997.2)

以降、長年にわたり地方史文献目録の編集に携わる。

監修: 『郷土ゆかりの人々-地方史誌にとりあげられた人物文献目録』(2016) / 『地名でたどる郷土の歴史-地方史誌にとりあげられた地名文献目録』(2017) / 『郷土に伝わる民俗と信仰-地方史誌にとりあげられた民俗文献目録』(2018) / 『地方史誌文献目録-累積版』(2021) 以上、日外アソシエーツ刊

---

# 地方史文献年鑑 2024

---

2025年12月25日 第1刷発行

---

編 者 / 飯澤文夫

発 行 者 / 山下浩

発 行 / 日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

---

電算漢字処理 / 日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本 / 株式会社平河工業社

---

©Fumio IIZAWA 2025

不許複製・禁無断転載

<落丁・乱丁本はお取り替えます> (中性紙北越淡クリームキンマリ使用)

ISBN978-4-8169-3081-2

Printed in Japan, 2025